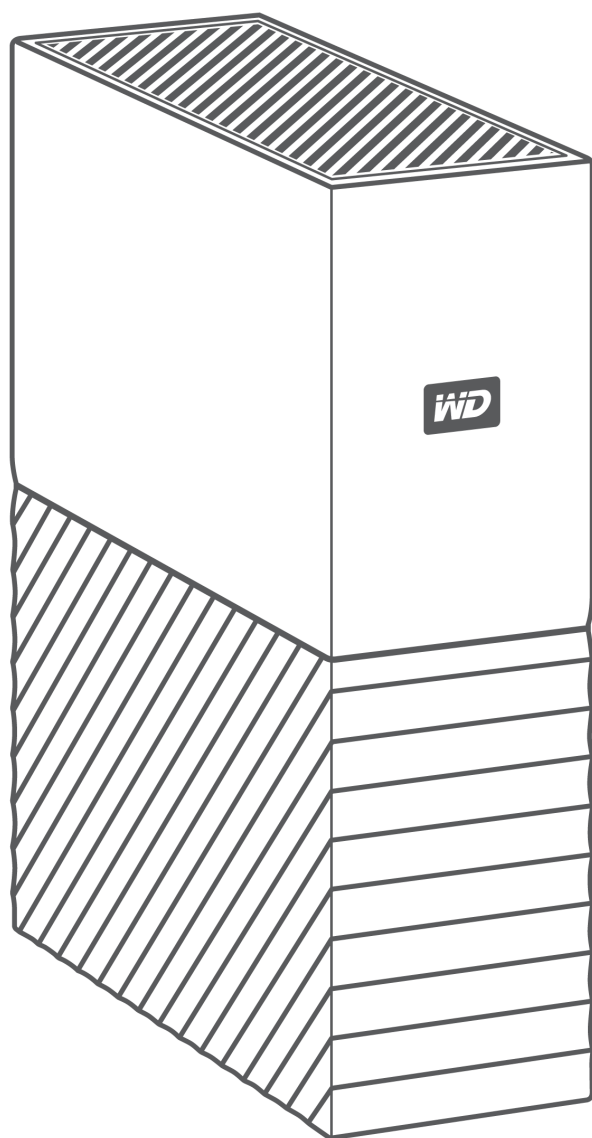




# My Book™

## デスクトップハードディスクストレージ

### ユーザーマニュアル



# オンラインサポートへのアクセス

WD の製品サポート Web サイト [support.wdc.com](https://support.wdc.com) にアクセスし、次のトピックから選択してください。

- **登録** – [register.wdc.com](https://register.wdc.com) で WD 製品を登録し、最新アップデートと特典を入手できます
- **ダウンロード** – [support.wdc.com/downloads](https://support.wdc.com/downloads) からお使いの WD 製品向けのソフトウェアとアップデートをダウンロードできます
- **E メールサポート** – [support.wdc.com/support](https://support.wdc.com/support) から技術的なサポートやその他のサポートを受けることができます
- **保証および RMA サービス** – [support.wdc.com/warranty](https://support.wdc.com/warranty) から保証、製品交換（RMA）、RMA ステータス、アクセサリ、データ復旧情報を入手できます
- **ナレッジベース** – [support.wdc.com/knowledgebase](https://support.wdc.com/knowledgebase) で、キーワード、語句、回答 ID から検索できます
- **WD コミュニティ** – [community.wdc.com](https://community.wdc.com) で他の WD ユーザーと意見を交換し、交流できます
- **電話サポート** – [support.wdc.com](https://support.wdc.com) でお住まいの地域のサポートの連絡先電話番号を入手できます

# 目次

オンラインサポートへのアクセス.....	ii
----------------------	----

1 WD ドライブについて.....	1
--------------------	---

特長.....	1
パッケージ同梱物.....	2
オプションのアクセサリ.....	2
対応するオペレーティングシステム.....	2
ディスクドライブのフォーマット.....	3
各部の名称と説明.....	3
USB 3.0 インターフェース.....	3
Kensington® セキュリティスロット.....	3
ドライブの登録.....	3
取り扱い上の注意.....	4

2 ドライブの接続と使用開始.....	5
---------------------	---

ドライブを接続する.....	5
WD ソフトウェアを使い始める.....	5

3 WD Discovery.....	7
---------------------	---

WD Discovery をインストールする.....	7
WD Discovery を使用する.....	8
[デバイス] タブ.....	8
[アプリ] タブ.....	8
使用可能なアプリ.....	8

4 ファイルのバックアップ.....	10
--------------------	----

バックアップ機能のしくみ.....	10
ファイルのバックアップ.....	11
クラウドサービスアカウントの設定.....	13

5 ファイルの復元.....	16
----------------	----

復元機能について.....	16
---------------	----

ファイルの復元.....	16
<b>6 ドライブのロックとロックの解除.....</b>	<b>18</b>
パスワードによるドライブの保護.....	18
ドライブのロック解除.....	19
WD Security または WD Drive Utilities ソフトウェアを使用した場合.....	19
パスワードの変更.....	20
ドライブのロック機能の無効化.....	20
<b>7 ドライブの管理とカスタマイズ.....</b>	<b>22</b>
ドライブの健全性チェック.....	22
ドライブを安全に取り外す.....	23
ドライブの消去.....	23
ドライブ消去機能を使用する.....	24
無効なパスワードを 5 回使用する.....	25
ドライブの登録.....	26
ドライブのスリープタイマーの設定.....	26
<b>8 ソフトウェアの管理とカスタマイズ.....</b>	<b>28</b>
ソフトウェア更新の有無を調べる.....	28
WD ソフトウェアのアンインストール.....	29
<b>9 ドライブの再フォーマット.....</b>	<b>30</b>
ドライブの再フォーマット.....	30
WD ソフトウェアのダウンロード.....	30
<b>10 トラブルシューティング.....</b>	<b>31</b>
ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット.....	31
よくある質問.....	31
<b>11 遵守および保証情報.....</b>	<b>33</b>
規制遵守.....	33
FCC クラス B 情報.....	33
ICES-003/NMB-003 宣言.....	33
安全準拠.....	34
ヨーロッパ CE 遵守.....	34

KC 通知（韓国のみ） .....	34
環境基準の遵守（中国） .....	34
保証情報.....	35
サービスを受けるには.....	35
製品保証.....	35
保証情報（オーストラリア/ニュージーランドに適用） .....	36
サービスを受けるには.....	36
製品保証.....	37
GNU General Public License ("GPL").....	38

## 1

# WD ドライブについて

My Book™ デスクトップハードディスクドライブへようこそ。このドライブは、大容量で洗練されたデザインのデスクトップデバイスです。超高速 USB3.0 インターフェース、ローカルおよびクラウドバックアップ、パスワード認証機能を搭載し、ファイルの不正使用を防止します。

序章では、以下のトピックについて説明します。

[特長](#)

[パッケージ同梱物](#)

[オプションのアクセサリ](#)

[対応するオペレーティングシステム](#)

[ディスクドライブのフォーマット](#)

[各部の名称と説明](#)

[USB 3.0 インターフェース](#)

[Kensington® セキュリティスロット](#)

[ドライブの登録](#)

[取り扱い上の注意](#)

## 特長

**完全なバックアップ**—My Book デスクトップハードディスクストレージには、WD Backup ソフトウェアのインストーラーが格納されており、Apple Time Machine にも対応しているので、写真、ビデオ、音楽、ドキュメントを確実に保護できます。スケジュールに合わせて自動的に実行するよう設定できます。お使いのシステムから大切なファイルをバックアップする時間と頻度を指定するだけです。My Book デスクトップハードディスクストレージは、Acronis® True Image™ WD Edition ソフトウェアともスムーズに連携し、完全なシステムバックアップをスケジュール設定できます。WD Backup、Apple Time Machine との互換性、Acronis True Image WD Edition ソフトウェアの機能を利用して、完全なバックアップをスケジュール設定し、コンピューターがウィルスに感染したり、コンピューターに障害が発生した場合、または誤って「削除」を押してしまった場合でもデータを復元できます。

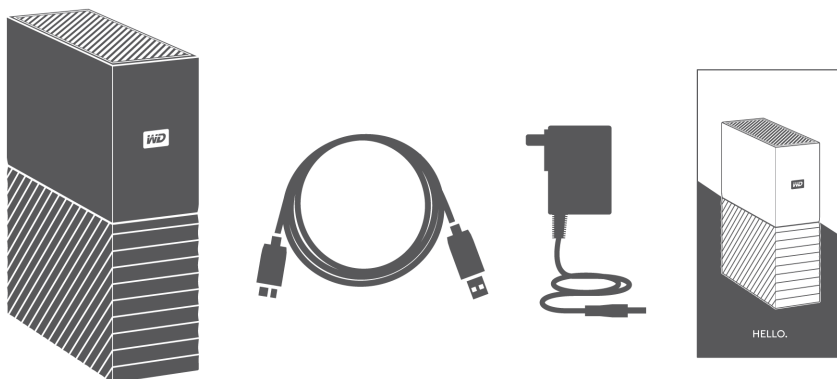
**パスワードロックとハードウェア暗号化**—My Book ドライブの 256 ビット AES ハードウェア暗号化を WD Security™ ソフトウェアで設定すれば、コンテンツを不正なアクセスから保護できます。パスワードロックを有効化して、自分専用のパスワードを設定するだけです。すばやく簡単にアクセスするために、コンピューターでドライブが自動的にロック解除されるように WD Security を設定して、常にパスワードを入力する手間を省くことができます。

**際立つデザイン**—洗練されたデザインの My Book デスクトップハードディスクストレージに、思わず息を呑むに違いありません。デザイン性の高いこのデスクトップハードディスクストレージで、自分のスタイルを表現しましょう。

**高い操作性**—My Book デスクトップハードディスクストレージは、購入後すぐに使用できるので、ファイルの転送、写真やビデオの保存・バックアップをすぐに行えます。インストーラーが格納された WD Backup や WD Security ソフトウェアなど、データ保護に必要なソフトウェアがすべて装備され、Apple Time Machine にも対応しています。

## パッケージ同梱物

My Book ドライブキットには、以下のものが同梱されています。



- WD Discovery™、WD Backup™、WD Drive Utilities™、WD Security™ ソフトウェアのインストーラーが格納された My Book ドライブ
- USB3.0 用ケーブル
- AC アダプタ
- クイックインストールガイド

## オプションのアクセサリ

WD 製品のオプションアクセサリについての詳細は、[www.wdc.com](http://www.wdc.com) をご覧ください。

## 対応するオペレーティングシステム

My Book ドライブ、WD Drive Utilities、WD Security ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムに対応しています。

Windows	Mac OS™
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Windows 7®</li> <li>▪ Windows 8</li> <li>▪ Windows 8.1</li> <li>▪ Windows 10</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Mavericks</li> <li>▪ Yosemite</li> <li>▪ El Capitan</li> <li>▪ Sierra</li> </ul>

WD Backup ソフトウェアは次のオペレーティング システムに対応しています。

- Windows 7
- Windows 8

- Windows 8.1
- Windows 10

ハードウェア構成とオペレーティングシステムによっては対応していない場合があります。

最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、必ず最新のアップデートおよびサービスパック（SP）をインストールしてください。Windows コンピュータをお持ちの方は［スタート］メニューに進み［Windows Update］を選択してください。Mac の場合は、［Apple］メニューに移動し、［Software Update］または［App Store］を選択してください。

## ディスクドライブのフォーマット

My Book ドライブは、すべての更新済み Windows および Mac OS との互換性を保つために、単一の exFAT パーティションとしてフォーマットされています。

## 各部の名称と説明

My Book ドライブの各部の名称は次のとおりです。

- 電源コネクタ、インターフェースポート、セキュリティスロット（背面）

### USB 3.0 インターフェース

USB 3.0 インターフェースは最大 5 Gb/s の転送速度に対応しています。USB 3.0 は USB 2.0 との下位互換性があります。USB 2.0 インターフェースは最大 480 Mb/s の転送速度に対応しています。

### Kensington® セキュリティスロット

盗難防止システムの一部として、Kensington®セキュリティスロットは標準 Kensington セキュリティケーブル（別途販売）に対応しています。Kensington セキュリティスロット、Kensington セキュリティシステム、入手可能な Kensington 製品について詳しくは、[www.kensington.com](http://www.kensington.com) をご覧ください。

## ドライブの登録

MyBook デバイスを登録すると、常に最新のアップデートや特典をご利用できます。WD Discovery ソフトウェアを使用して、ドライブを簡単に登録することができます。[register.wdc.com](http://register.wdc.com) からオンラインで登録することもできます。



## 取り扱い上の注意

WD 製品は精密機械です。開梱および取り付けを行う際には丁寧にお取扱いください。乱暴な取り扱い、衝撃、振動を与えると、本製品が損傷することがあります。外付けストレージ製品の開梱や取り付けの際は、次の注意事項を必ず守ってください。

- ドライブを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 動作中のドライブを動かさないでください。
- 本製品をポータブルドライブとして使用しないでください。
- 十分な通気を確保するために、ドライブのケースの通気孔を塞がないでください。

## 2

## ドライブの接続と使用開始

この章ではドライブの接続方法と WD ソフトウェアをコンピューターにインストールする方法について説明します。以下のトピックが含まれます。

[ドライブを接続する](#)

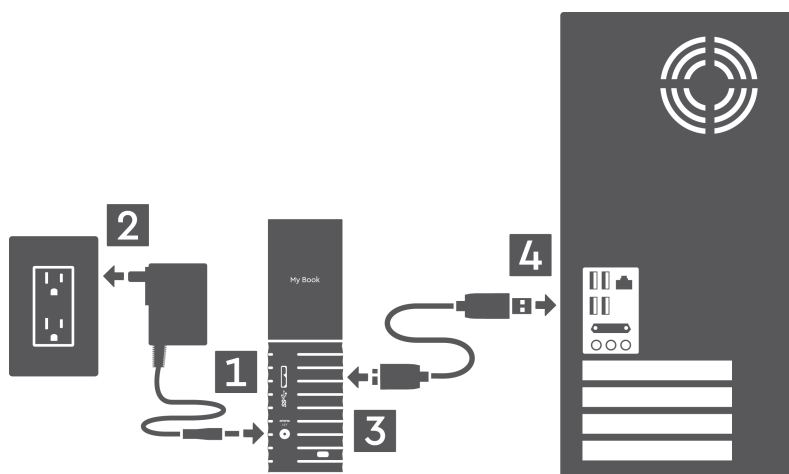
[WD ソフトウェアを使い始める](#)

### ドライブを接続する

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 下の図に示すように、ドライブをコンピューターに接続します。
3. ドライブがコンピューターのファイル管理ユーティリティのリストに表示されていることを確認します。
4. [新しいハードウェアの検出] 画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。WD ソフトウェアによりドライブに適したドライバーが自動的にインストールされます。

これで、My Book ドライブを外付けストレージデバイスとして使用する準備ができました。ドライブ上にある WD ソフトウェアをインストールすることで、機能をより向上させることができます。

- WD Discovery
- WD Backup
- WD Security
- WD Drive Utilities



### WD ソフトウェアを使い始める

1. Windows の場合は、WD Discovery.exe を実行して、WD ソフトウェアをインストールすると、バックアップの計画、ドライブ設置の変更が可能です。インターネット

- トに接続していない場合は、WD Software Offline Installers > For Windows フォルダから、WD Backup™、WD Drive Utilities™をインストールしてください。
2. Mac の場合は、WD Discovery for Mac.dmg を開いて WD ソフトウェアをインストールすると、ドライブ設定の変更が可能です。インターネットに接続していない場合は、WD Software Offline Installers > For Mac フォルダから、WD Drive Utilities™をインストールしてください。

## 3

## WD Discovery

WD Discovery アプリケーションは、WD Backup、WD Security、WD Drive Utilities などのドライブ管理ツールで構成されており、My Book ドライブからインストール可能です。WD Discovery はトレイアプリケーションであり、画面の右下隅の Windows システムトレイに小さなアイコンが表示されます。このアプリケーションは、「固定解除」して、ウィンドウで開くこともできます。

この章では以下のトピックについて説明します。

[WD Discovery をインストールする](#)

[WD Discovery を使用する](#)

[\[デバイス\] タブ](#)

[\[アプリ\] タブ](#)

[使用可能なアプリ](#)

## WD Discovery をインストールする

WD Discovery アプリケーションは、お使いのドライブからインストールできます。

1. **WD Discovery.exe** をダブルクリックします。
2. **[今すぐインストール]** をクリックします。
3. 必要に応じてアプリケーションの更新をインストールします。

WD Discovery 画面には、接続されたデバイスのリスト、クラウドストレージやソーシャルメディアからデータをインポートするオプション、更新メッセージ、ドライブの登録用リンクが表示されます。



## WD Discovery を使用する

デフォルトでは、WD Discovery アプリケーションはシステムトレイに表示されます。表示が急に見つからなくなった場合は、アプリケーションが「固定解除」され、ウィンドウで実行されてる可能性があります。

できるだけ早くドライブを登録することをお勧めします。登録すると、次のような多くのメリットがあります。

- ・ 保証期間を設定できる
- ・ 登録されたドライブのソフトウェア更新とファームウェア更新が通知される
- ・ サポートサービスを利用できる

## 【デバイス】 タブ

【デバイス】 タブには、お使いのシステムに接続されたドライブのリストと、ドライブのボリュームが表示されます。各項目には、デバイス名、ドライブ文字、容量、製品名、残りの空き領域の割合があります。リストされたドライブを 1 回クリックすると、エクスプローラーのウィンドウが開きます。

## 【アプリ】 タブ

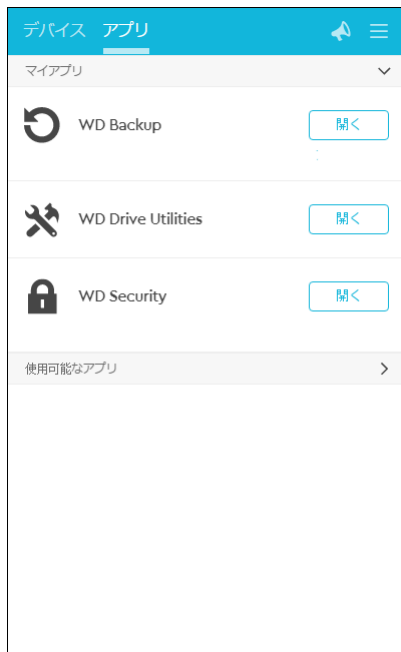
【アプリ】 タブには、WD Discovery スイートに含まれる WD アプリケーションと、その他の企業や組織によって作られたさまざまなサードパーティ製アプリケーションが一覧表示されます。WD アプリケーションには、次のものがあります。

- ・ WD Backup : 個人のファイル、写真、ビデオ、音楽を簡単にバックアップできます
- ・ WD Drive Utilities : ドライブのパフォーマンスを持続的に最適化し、スリープ、健全性、RAID 設定、ドライブ消去の各機能を利用できます
- ・ WD Security : WD の対応ハードディスクドライブで、パスワードロックおよび 256 ビットハードウェアデータ暗号化機能を実行します

## 使用可能なアプリ

一連のサードパーティ製アプリケーションを利用できます。リストを表示するには、【使用可能なアプリ】 タブをクリックします。

**メモ :** 【使用可能なアプリ】 タブに表示されるアプリケーションは、その他の企業や組織によって作られており、My Book ドライブでの使用が検証され、認められています。各種の手順、ソフトウェアライセンス利用規約、保証に関する情報はそれぞれのメーカーにお問い合わせください。



## 4

# ファイルのバックアップ

この章では以下のトピックについて説明します。

バックアップ機能のしくみ

ファイルのバックアップ

クラウドサービスアカウントの設定

## バックアップ機能のしくみ

WD Backup ソフトウェアは定期バックアップアプリケーションで、指定したスケジュールどおりに、ユーザーの選択したファイルを自動的にバックアップします。

バックアッププランを作成したら、バックアップを指定します。

- ターゲット—バックアップ保護用にファイルをコピーする外付けストレージデバイス。バックアップターゲットは次のすべてをサポートします。
  - 外付けストレージドライブ
  - クラウドサービスアカウント
- ソース—バックアップ保護のために、バックアップターゲットにコピーするコンピューターファイルやフォルダ。バックアップソースには次のいずれかを指定できます。
  - 内蔵ハードディスクドライブまたはハードディスクドライブパーティション
  - 外付けストレージドライブ
  - サポートされているクラウドサービスアカウント
- スケジュール—バックアップを実行する時間、曜日、月など。

バックアッププランの作成後に「バックアップ開始」をクリックすると WD Backup ソフトウェアは指定されたバックアップソースファイルとフォルダのすべてを指定されたバックアップターゲットへコピーします。続いて、指定したスケジュールに従って、WD Backup ソフトウェアが自動的に次のいずれかにバックアップを開始します。

- バックアップ保護対象デバイスまたはフォルダに作成された、あるいはコピーされた新しいファイル
- 変更された既存のバックアップ保護対象ファイル

この保護は自動です—WD Backup ソフトウェアは、ユーザー側のアクションなしに、これらの処理を実施します。バックアップソースとターゲットデバイスをご使用のコンピューターに接続しておくだけです。

**メモ：** バックアップターゲットやソースデバイスを切断または再接続すると、WD Backup ソフトウェアがバックアップソースデバイスをスキャンし、新規のファイルや変更されたファイルを特定し、スケジュールに従って自動的にバックアップ保護を再開します。

**除外ファイル**—WD Backup ソフトウェアは次に示すような独自のバックアッププランやファイルはバックアップしません。

- 属性：reparsePoint、temporary

- 名前 : \AppData\Roaming\Microsoft\Windows、[CommonApplicationData]\Western Digital\、[CommonApplicationData]\Microsoft\Windows\Caches\、config.msi、MSOCCache、ntuser.dat、ntuser.ini、[RecycleBin]、\$recycle.bin、recycler、[Root]\Drivers\、[Root]\Temp\、System Volume Information、.WD Hidden Items、[Windows]
- 拡張子 : .ds\_store、.temp、.tmp、.wdsync
- 開始値 : ~
- 終了値 : desktop.ini、.dropbox、.dropbox.attr、hiberfil.sys、-journal、pagefile.sys、thumbs.db

## ファイルのバックアップ

1. 次のいずれかをクリックして、[WD ストレージデバイスまたはクラウドデバイスを選択してください] ダイアログを開きます。
  - WD Backup 画面の [バックアッププランを追加]
  - Windows タスクバーから WD Backup のビュメニューで、[バックアップを設定]
2. [WD ストレージデバイスまたはクラウドデバイスを選択してください] ダイアログには、次のように、バックアップのターゲットデバイスとして使用できるすべてのハードウェアデバイスとクラウドサービスアカウントが表示されます。
  - a. 使用するデバイスを選択して強調表示します。
  - b. 使用できるデバイスが3つ以上ある場合は、それらすべてを表示するには左と右のスクロールボタンをそれぞれ使用します。
  - c. [次へ] をクリックすると、[設定完了] ダイアログが表示されます。

メモ :

次を選択した場合	WD Backup ソフトウェアの表示内容
クラウドサービスアカウント	ログインするか続行するために必要なダイアログに接続します ( <a href="#">クラウドサービスアカウントの設定</a> を参照)。
ロックされたパスワード保護デバイス	書き込み可能パーティションへのメッセージはありません。この場合、デバイスをアンロックするには、WD Security か WD Drive Utilities ソフトウェアのいずれかを使用します。その後、それを再選択します。

3. 設定完了ダイアログでのバックアップ設定の初期/既定の設定は、ご使用のコンピューター名の Windows Users フォルダにあるすべてを毎時バックアップするためのものです。

[設定完了] ダイアログで、次の作業を行います。

目的	作業
既定の設定を受け入れます。	[バックアップ開始] でバックアッププランを保存および起動し、[設定完了] ダイアログを閉じます。



目的	作業
異なるバックアップスケジュールを指定する	手順 10 にスキップします。 [スケジュールを編集] で自動バックアップスケジュール画面を表示し、手順 4 に進みます。
含めるファイル設定を変更する	[ファイルを編集] で [バックアップするファイルを選択] 画面を表示し、手順 7 にスキップします。

4. [自動バックアップスケジュール] 画面で、必要な自動バックアップスケジュールのオプションを選択します。

選択...	自動バックアップを設定します
毎時	毎時、指定の時刻、日に 24 時間、週に 7 日間。
毎日	一日に一度、選択した曜日に一度、指定した一時間、または 30 分ごと。 毎日バックアップの場合： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [曜日] チェックボックスを選択または選択を解除して、バックアップを実行する曜日を指定します。</li> <li>2. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。</li> </ol>
毎月	選択した日に月に一度、指定した一時間、または 30 分ごと。 毎月バックアップの場合： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [週] チェックボックスを選択またはクリアして、バックアップを実行する日（1 日目、2 日目、3 日目、4 日目、最終日など）を指定します。</li> <li>2. [曜日] チェックボックスを選択または選択を解除して、バックアップを実行する曜日を指定します。</li> <li>3. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。</li> </ol>

5. バックアップスケジュールに変更内容を保存し、実装するには [OK] をクリックし、[自動バックアップスケジュール] 画面を閉じます。
6. バックアップスケジュールを変更したあと：

目的	作業
既定の含めるファイル設定を受け入れる	[バックアップ開始] でバックアッププランを保存および起動し、[設定完了] ダイアログを閉じます。 手順 10 にスキップします。
含めるファイル設定を変更する	[ファイルを編集] で [バックアップするファイルを選択] 画面を表示し、手順 7 に進みます。

7. [バックアップするファイルを選択] 画面で、次の作業を実行します。

- a. バックアップするファイルとフォルダが含まれるデバイスをクリックして選択します。
    - マイ コンピューター
    - Dropbox

**メモ：** バックアップするファイルとフォルダが Dropbox アカウント内にあり、WD Backup ソフトウェアでアカウントにアクセスするように設定していない場合は、を参照します。 [クラウドサービスアカウントの設定](#)
  - b. 選択したデバイスのファイル構造ビューで、リストを開くための選択ボックスをクリックし、バックアップするファイルとフォルダごとにチェックボックスを選択します。フォルダのチェックボックスを選択すると、そのフォルダ内のすべてのファイルとサブフォルダが自動的に選択されることに注意してください。
  - c. バックアップの対象にしないファイルやフォルダごとにチェックボックスをオフにします。フォルダのチェックボックスをオフにすると、そのフォルダ内のすべてのファイルとサブフォルダのチェックボックスも自動的にオフになることに注意してください。
 

**メモ：** 既定のバックアップソースはご使用のコンピューターのユーザー名の Windows Users フォルダにあるすべてのファイルです。これらのファイルやフォルダをバックアップに含めない場合には、これらの選択を必ずオフにしてください。
  - d. 選択内容を保存するために [OK] をクリックし、[バックアップするファイルを選択] 画面を閉じます。
8. 自動バックアップと含めるファイルの指定が正しいことを確認します。
  9. [バックアップ開始] をクリックしバックアッププランを保存および起動して、[設定完了] ダイアログを閉じます。
  10. WD Backup ソフトウェアは最初のバックアップを直ちに実行し、バックアップダイアログの進行中のバックアップ (x % 完了) メッセージでバックアップの進捗状況を表示します。初回のバックアップを完了すると、バックアップは指定したスケジュールに従って自動的に実行されます。

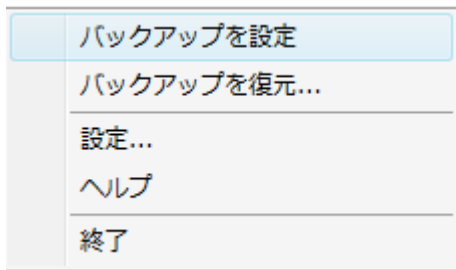
## クラウドサービスアカウントの設定

バックアップソースまたはターゲットデバイスとしてクラウドサービスを使用する前に、WD Backup ソフトウェアでアクセスのアカウントを設定しておく必要があります。

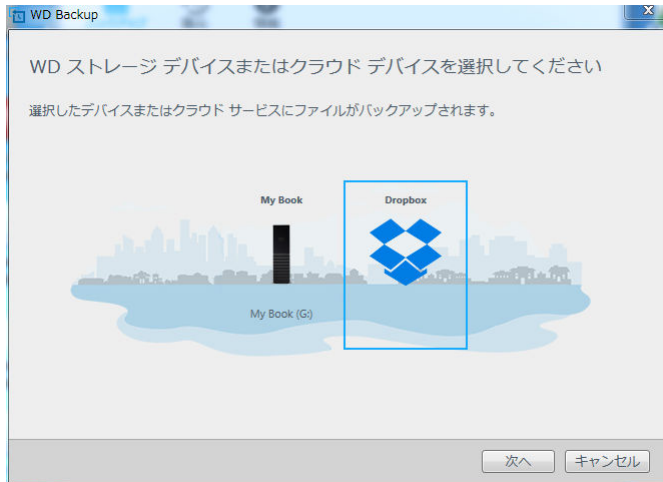
1. 次のいずれかをクリックして、[WD ストレージデバイスまたはクラウドデバイスを選択してください] ダイアログを開きます。
  - WD Backup 画面の [バックアッププランを追加]：



- Windows タスクバーから WD Backup のビューメニューで、[バックアップを設定]：



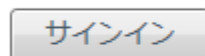
2. [WD ストレージデバイスまたはクラウドデバイスを選択してください] ダイアログで Dropbox アイコンを選択してハイライトします。



3. [次へ] をクリックして、Dropbox アカウントの接続ダイアログを表示します。

### Dropbox に接続

サインイン をクリックして、WD Backup が Dropbox アカウントにアクセスできるようにします。

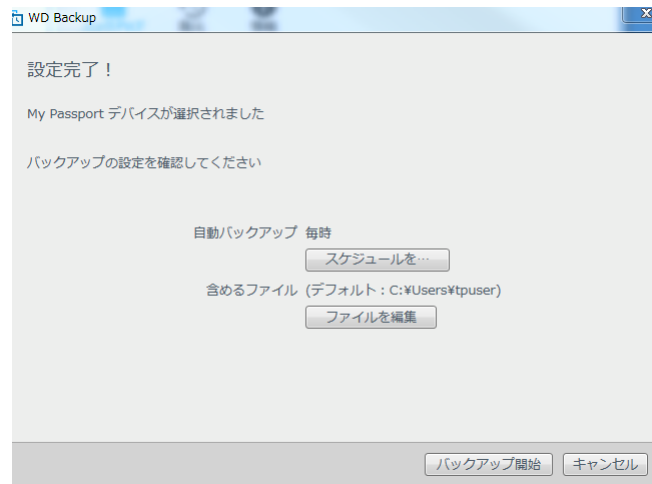


WD Backup がアカウントにアクセスできるようにした後、終了 をクリックして接続手順を完了してください。



4. 接続ダイアログで、次の操作を行います。
  - a. [サインイン] をクリックします。WD Backup ソフトウェアが、ユーザーの代理で接続要求を開始し、Web ブラウザーを使用して Dropbox の Web サイトにアクセスします。
  - b. Dropbox の Web サイトで、ログイン資格情報を記憶するようにアカウントを設定していなかった場合は、電子メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン] をクリックして WD Backup ソフトウェアからの接続要求を確認します。
  - c. [許可] をクリックして接続要求を受け入れます。
  - d. 「正常に終了しました！」が表示されます。これは、WD Backup ソフトウェアに Dropbox アカウントへのアクセスが許可されたことを示しています。

- e. Dropbox 接続ダイアログで [終了] をクリックして設定を修了し、バックアップターゲットデバイスとして選択した Dropbox で [設定完了!] ダイアログを表示します。



## 5

## ファイルの復元

この章では以下のトピックについて説明します。

[復元機能について](#)

[ファイルの復元](#)

### 復元機能について

WD Backup ソフトウェアを使用することで、バックアップターゲットデバイスから次に示す場所へのバックアップファイルの復元が容易になります。

- バックアップ元デバイス上の元の場所
- 選択した他の場所

復元は通常 4 つの手順からなるプロセスです。

1. バックアップターゲットデバイスと復元するファイルが含まれるスケジュール済みバックアップを選択します。
2. ファイルを復元する場所を選択します。
3. 復元する対象を選択します。指定ファイルか指定フォルダの復元、またはすべての復元が行えます。
4. ファイルを復元します。

### ファイルの復元

1. 次のいずれかをクリックすることで [復元] ダイアログを開きます。
  - WD Backup 画面の [復元]。
  - Windows タスクバーから WD Backup のビューメニューで、[ファイルを復元]。
2. 復元ダイアログで、次の操作を行います。
  - a. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、復元するバックアップファイルを含むものを選択します。
  - b. ファイルを復元する場所オプションを選択します。

次のファイルを復元する場合：	次を選択します
元の場所	元の場所
新しい場所	<p>[場所を選択] では [参照] ボタンを有効化し、次を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [場所を選択] 画面を表示するために [参照] をクリックします。</li> <li>2. コンピュータのフォルダ構造ビューを使用して、復元場所を選択します。</li> <li>3. フォルダボックスに選択したフォルダ名が表示されている状態で、[フォルダを選択] をクリックします。</li> </ol>

次のファイルを復元する場合：	次を選択します
	<p>4. WD Backup ソフトウェアは [フォルダを選択] 画面を閉じ、[復元] ダイアログに選択されたファイルへのパスが表示されます。</p>

- c. [復元するファイルを選択] をクリックすると、[ファイルを復元] 画面が表示されます。デフォルトでは、[ファイルを表示] リストで一番古いバックアップが選択されます。
3. [ファイルを復元] 画面で次の作業を行います。
- a. [ファイルを表示] リストで、復元するファイルの含まれるバックアップを選択します。
- b. 復元するファイルを指定するために、選択されたバックアップのフォルダ構造ビューを使用します。

次を復元する場合：	手順
選択されたバックアップのファイルすべて、	一番上のレベルのチェックボックスを選択し、バックアップ全体を指定します。
選択したファイルとフォルダー、	<p>1. フォルダやサブフォルダを開くにはバックアップのフォルダ構造ビューでセレクトをクリックします。</p> <p>2. 復元するファイルやフォルダのチェックボックスを選択します。</p> <p>フォルダのチェックボックスを選択すると、そのフォルダ内のすべてのファイルとサブフォルダが自動的に選択されることに注意してください。</p>

- c. [復元] をクリックし、選択されたファイルまたはフォルダを指定した場所に復元します。

## 6

# ドライブのロックとロックの解除

この章では以下のトピックについて説明します。

パスワードによるドライブの保護

ドライブのロック解除

パスワードの変更

ドライブのロック機能の無効化

## パスワードによるドライブの保護

他のだれかがドライブにアクセスすることが心配な場合に、ドライブ上のファイルを第三者に見せないようにするには、ドライブをパスワードで保護してください。パスワードは、ドライブをロック/ロック解除に使用できます。地域<sup>1</sup>により、パスワードを使用するとデータが暗号化される場合があります。

ソフトウェアを使用すると、パスワードを使ってドライブをロックしたり、ロックを解除することができます。パスワードを忘れた場合は、ドライブ上のデータにアクセスしたり、新しいデータを書き込むことができなくなります。その場合、再度使用するにはドライブの消去が必要になります。

1. WD Security を起動するには、次の手順を実行します。
  - WD Discovery をインストールして開いたら、[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Security を実行できます。
  - 別の方法としては、Windows のスタートメニューから [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] > [その他の WD アプリ] > [WD Security] または [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD アプリ] > [WD Security] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。
2. サポート対象のドライブをコンピュータに複数接続している場合は、パスワードを作成するドライブを選択します。
3. パスワードを忘れた場合に、データを失う可能性があるという警告を確認します。
4. [パスワード] ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。
5. [パスワードの確認] ボックスに再度パスワードを入力します。
6. [パスワードのヒント] ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
7. このコンピュータで選択したドライブのパスワードを WD Security ソフトウェアに記憶させる場合、[このコンピュータで自動ロック解除を有効にする] チェックボックスを選択します。
8. [パスワードの設定] をクリックしてパスワードを保存します。

パスワードを作成した後も、現在の作業セッションを続けている限り、ドライブはロック解除されたままになります。次にソフトウェアで次を実行します。

<sup>1</sup> すべての Western Digital 製品に、使用中のデータの暗号化機能が搭載されているわけではありません。ロシアなどの一部の市場では、暗号化は無効になっています。エンドユーザーは暗号化を有効にできません。

- ・ コンピュータをシャットダウンした場合や、ドライブを外した場合に、ドライブをロックします。USB ポートへの電源がオフになっている場合は、スリープモードでドライブをロックします。
- ・ コンピュータを再起動した場合、またはドライブを再接続した場合は、パスワードを入力してドライブのロックを解除する必要があります。ただし、パスワードを作成したときに「このコンピュータで自動ロック解除を有効にする」チェックボックスを選択している場合を除きます。

**メモ：** パスワードを作成すると、ドライブはデータの保護を開始します。

このリストは、次の場合に表示されます。

- ・ 次にコンピュータをシャットダウンして、再起動した場合
- ・ ドライブを削除し、再接続した場合
- ・ 構成によって異なるが、コンピュータがスリープモードを終了した場合

ドライブがロックされているか否かに関わらず、またはパスワード作成時に「**ユーザーの自動ロック解除を有効にする**」チェックボックスを選択しているか否かに関わらず、リストは表示されます。ドライブについてパスワード保護を有効にしている限り、この状態は変わりません。

## ドライブのロック解除

パスワードを作成して他のユーザーがドライブ上のファイルにアクセスできないようにすると、「このコンピュータで自動ロック解除を有効にする...」チェックボックスをオンにしている場合を除き、次の場合は必ず、パスワードを入力してドライブのロックを解除する必要があります。

- ・ コンピュータをシャットダウンして再起動する
- ・ ドライブの接続を解除し、コンピュータに再接続する
- ・ コンピュータがスリープモードを終了する

コンピュータにソフトウェアをインストールしていない場合でも、ロック解除は必要です。

## WD Security または WD Drive Utilities ソフトウェアを使用した場合

コンピュータをシャットダウンし再起動するときや、コンピュータからドライブを切断し再接続するときは常に、WD Drive Utilities が起動すると、ソフトウェアに「ドライブロック解除」ダイアログが表示されます。

この画面は以下のいずれかの場合に表示されます。

- ・ コンピュータに接続されたロックされたが 1 台だけの場合は自動で表示
- ・ WD Drive Utilities 画面でロックされたドライブを選択したときに、対応ドライブをコンピュータに複数接続している場合

ドライブのロックを解除するには：

1. WD Security を起動するには、次の手順を実行します。
  - ・ WD Discovery をインストールして開いたら、「[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Security を実行できます。
  - ・ 別の方法としては、Windows のスタートメニューから [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] > [その他の WD アプリ] > [WD Security] また



- は [ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ WD アプリ ] > [ WD Security ] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。
2. コンピューターにサポート対象のドライブを複数接続している場合、ロックされているいずれかのドライブを選択して、[ドライブ ロック解除] 画面を表示します。
  3. [ドライブ ロック解除] 画面では、以下の操作を行います。
    - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
    - b. [ドライブ ロック解除] をクリックします。

## パスワードの変更

1. WD Security を起動するには、次の手順を実行します。
  - WD Discovery をインストールして開いたら、[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Security を実行できます。
  - 別の方法としては、Windows のスタートメニューから [ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ WD Discovery ] > [ その他の WD アプリ ] > [ WD Security ] または [ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ WD アプリ ] > [ WD Security ] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。
2. コンピューターにサポート対象のドライブを複数接続している場合、変更するパスワードを使用しているいずれかのドライブを選択して、[セキュリティ設定の編集] ダイアログを表示します。
3. セキュリティ設定を編集ダイアログで [パスワードの変更] オプションを選択して、パスワードの変更ダイアログを表示します。
4. パスワードの変更ダイアログボックスで次の作業を行います。
  - a. [現在のパスワード] ボックスに現在のパスワードを入力します。
  - b. [新しいパスワード] ボックスに最大 25 文字の新しいパスワードを入力します。
  - c. [パスワードの確認] ボックスに再度新しいパスワードを入力します。
  - d. [パスワードのヒント] ボックスに新しいパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
  - e. [このコンピュータで自動ロック解除を有効にする] チェックボックスを選択または選択を解除して、このコンピュータで選択したドライブの新しいパスワードをソフトウェアに記憶させるかどうかを指定します。
  - f. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

パスワードを変更すると、ドライブは、現在の作業セッション中は「ロック解除」の状態を維持します。その後、WD Security ソフトウェアは、次の処理を実行します。

- ユーザーがコンピューターをシャットダウンした場合、ドライブの接続を解除した場合、またはコンピューターがスリープモードに入った場合に、ドライブをロックします。
- コンピューターを再起動した場合、またはドライブを再接続した場合は、パスワードを入力してドライブのロックを解除する必要があります。ただし、パスワードを変更したときに [このコンピュータで自動ロック解除を有効にする] チェックボックスを選択している場合を除きます。

## ドライブのロック機能の無効化

1. WD Security を起動するには、次の手順を実行します。

- WD Discovery をインストールして開いたら、[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Security を実行できます。
  - 別の方法としては、Windows のスタートメニューから [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] > [その他の WD アプリ] > [WD Security] または [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD アプリ] > [WD Security] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。
2. コンピューターにサポート対象のドライブを複数接続している場合、削除するパスワードを使用しているいずれかのドライブを選択して、[セキュリティ設定の編集] ダイアログを表示します。
  3. セキュリティ設定の変更ダイアログでは、[パスワードを削除] オプションがデフォルトで選択されています。
    - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
    - b. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

## 7

# ドライブの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックについて説明します。

[ドライブの健全性チェック](#)

[ドライブを安全に取り外す](#)

[ドライブの消去](#)

[ドライブの登録](#)

[ドライブのスリープタイマーの設定](#)

WD Drive Utilities ソフトウェアでは、最高のパフォーマンスを引き出すために、次のようにドライブの管理とカスタマイズを簡単に行えます。

- 診断—診断とステータスチェックを実行して、ドライブが正しく機能していることを確認します。
- スリープタイマー—ハードディスク上で何も処理が行われずに一定の時間が経過した場合、ドライブをオフにして電力を節約し、ドライブの磨耗を最小限に抑えます。
- ドライブの消去—ドライブ上のすべてのデータを完全に消去します。
- バージョン情報—インストールされているソフトウェアのバージョンと更新プログラムを確認できます。また、ドライブを登録して、保証期間中、無料のテクニカルサポートを受け、ソフトウェアの更新、製品の強化、割引価格などの情報を知ることができます。

## ドライブの健全性チェック

WD Drive Utilities™ ソフトウェアは、サポートされるドライブのパフォーマンスを確保するため、3つの診断ツールが提供されています。ドライブが正しく動作しているか確認する場合は、次のテストのいずれかを実行してください。

- ドライブステータスチェック

ドライブステータスチェックは、ドライブの主な内部パフォーマンス属性を継続的にモニタリングする障害予測機能です。たとえば、ドライブ温度の上昇、ノイズまたは読み取り/書き込みエラーなどの増加が検出されると、ドライブに深刻な障害が生じる可能性が高くなっていることが示されます。高度なアラートにより、実際に障害が発生する前にデータを別のドライブに移動するなどの予防措置をとることができます。

ドライブステータスチェックの結果は、ドライブの状態が合格または不合格であるとして判定されます。

- クイックドライブテスト

ドライブには、ドライブのエラー状態をテストする Data Lifeguard™ 診断ユーティリティが搭載されています。クイックドライブテストでは、ドライブのパフォーマンスに重要な問題がないかをチェックします。

ドライブの状態に関するクイックドライブテストの結果は、合格または不合格として判定されます。

- 完全ドライブテスト [カンゼンドライブテスト]

最も総合的なドライブ診断は、完全ドライブテストです。各セクターのエラー状態の有無をセクターごとにテストし、必要に応じて不良セクターにマーカーを挿入します。

ドライブに問題が発生する前に、ドライブ診断とステータスチェックを定期的に行うことをお勧めします。また、このドライブは極めて高速であるため、ドライブステータスチェックとクイックドライブテストの実行により、不便さを最小に抑えながら、最高の安心を得ることができます。また、ファイルの書き込みやアクセス時にディスクエラーが発生した場合は、必ず3つのテストをすべて実行してください。

1. WD Discovery を使用して、次のようにアプリを開きます。
  - WD Discovery をインストールして開いたら、[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Security を実行できます。
  - 別の方法としては、Windows のスタートメニューから [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] > [その他の WD アプリ] > [WD Security] または [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD アプリ] > [WD Security] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。
2. サポート対象のドライブをコンピュータに複数接続している場合、確認するドライブを1つ選択します。
3. [診断] ダイアログで、実行する次のテストのボタンをクリックします。
  - ドライブステータスチェックを実行
  - クイックドライブテストを実行
  - 完全ドライブテストを実行

## ドライブを安全に取り外す

Windows や Macintosh のオペレーティングシステムには、システムをオフにせずにドライブを安全に切断し、外す方法があります。

- Windows では、システムトレイに [Safely Remove Hardware and Eject Media (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す)] アイコンがあり、それを使用することにより、すべてのデータはデバイスが取り外される前にシステムキャッシュから消去されます。
- Mac ユーザーは、ドライブを切断する前にドライブアイコンをゴミ箱までドラッグするだけで実行できます。

exFAT 形式のドライブのため、ドライブを切断する場合は、特に注意して上記の手順に従う必要があります。手順に従わない場合は、データが破損することがあります。

## ドライブの消去

**メモ：** ドライブを消去すると、WD ソフトウェアだけでなく、サポートファイル、ユーティリティのファイルもすべて削除されます。ドライブを消去してから、これらのファイルをダウンロードすると、ドライブを元の構成に復元できます。

ドライブがロックされているかロック解除されているかに応じて、次のいずれかの方法でドライブを消去します。

ドライブが次の場合：	さらに、次の条件が当てはまる場合：	その場合は次を参照してください。
ロックが解除されている	ドライブを消去する	<a href="#">ドライブ消去機能を使用する</a>

ドライブが次の場合：	さらに、次の条件が当てはまる場合：	その場合は次を参照してください。
ロックされている	パスワードを忘れた、またはパスワードを失くしたため、ドライブの消去が必要	無効なパスワードを 5 回使用する

## ドライブ消去機能を使用する

ドライブがロックされていない場合にドライブを消去するには：

- WD Drive Utilities を実行するには、次の手順を実行します。
  - WD Discovery をインストールして開いたら、[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Drive Utilities を実行できます。
  - また、Windows のスタートメニューから、[スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] > [その他の WD アプリ] > [WD Drive Utilities] または [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD アプリ] > [WD Drive Utilities] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。
- 対応しているデバイスをコンピュータに複数接続している場合は、消去するデバイスを選択します。
- [WD Drive Utilities] 画面で、[ドライブ消去] をクリックし、[ドライブの消去] ダイアログを表示します。



- [ドライブ消去] ダイアログで、次の作業を行います。
  - ボリューム名を変更する場合、[ボリューム名] ボックスに名前を入力します。
  - ドライブを消去するとデータを失うことに関する説明が表示されます。ドライブにあるデータを保存する場合は、ドライブ消去を一時中断し、別のデバイスにバックアップしてください。
  - 警告を読み、[ドライブの消去] ボタンをクリックすると、**選択したドライブのすべてのデータが永久に消去されることを了解しました。** チェックボックスを選択した後、そのリスクを受け入れることを確認し、[ドライブの消去] ボタンを有効にします。
  - [ドライブの消去] をクリックします。

ドライブでの WD ソフトウェアのダウンロードと復元の詳細については、  
<http://support.wdc.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 7 を参照  
 してください。

**メモ：** ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使ってドライブをロックしていた場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージを復元した後、パスワードを再度作成します。（[パスワードによるドライブの保護](#)を参照）。

## 無効なパスワードを 5 回使用する

パスワードを忘れた、または紛失した場合、[ドライブ ロック解除] ダイアログで無効なパスワードを 5 回入力して、ロックされたドライブを消去できます。

[WD Security または WD Drive Utilities ソフトウェアを使用した場合](#)を参照してください。

1. [ドライブ ロック解除] ダイアログでドライブを解除するため次の作業を 5 回実行します。
  - a. [パスワード] ボックスに無効なパスワードを入力します。
  - b. [ドライブ ロック解除] をクリックします。
2. 誤ったパスワードを 5 回目に入力すると、[ドライブ ロック解除] ダイアログを開くのに使用したアプリケーションによって、[無効なパスワード試行回数が多すぎます。] ダイアログが表示されます。
  - WD Security または WD Drive Utilities ソフトウェアの使用：

ドライブ ロック解除

▲ 無効なパスワード試行回数が多すぎます。

再試行してください：

1.ドライブをコンピュータから安全に取り外します。

2.ドライブをコンピュータに再接続してください。

——または——

データを消去：

パスワードを覚えていない場合は、ドライブのデータを消去できます。ドライブ上のすべてのデータが永久に消去されます。

ボリューム名

My Book

☐ [ドライブ消去] をクリックすると、ドライブ上のすべてのデータが永久に消去されることを了解しています。

ドライブの消去

3. ドライブを消去するには：
  - a. ボリューム名を変更する場合、[ボリューム名] ボックスに名前を入力します。

- b. ドライブのデータ消去に関する説明を読み、そのリスクを受け入れる場合は、了解しましたチェックボックスをオンにして、ドライブ消去ボタンを有効化します。
- c. [ドライブの消去] をクリックします。

ドライブでの WD ソフトウェアのダウンロードと復元の詳細については、<http://support.wdc.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 7 を参照してください。

**メモ：** ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使ってドライブをロックする場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージを復元した後に、パスワードを再度作成する必要があります。  
([パスワードによるドライブの保護](#)を参照)。

## ドライブの登録

WD Discovery ソフトウェアを使用して、コンピューターのインターネット接続を利用してドライブを登録できます。ドライブを登録すると、保証期間は無料テクニカルサポートをご利用頂けます。また、最新の WD 製品情報をお届けします。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. [スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] をクリックすると、WD Discovery 画面が表示されます。
3. サポート対象のドライブをコンピューターに複数接続している場合、登録するドライブを 1 つ選択します。
4. [デバイスの登録] ボタンをクリックします。
5. [製品登録] 画面で、次を実行します。
  - a. [名] ボックスに名前を入力します。
  - b. [姓] ボックスに名字を入力します。
  - c. 電子メールアドレスを [電子メール] ボックスに入力します。
  - d. [国の選択] ボックスでお住まいの国を選択します。
  - e. [WD からのすべてのメール配信に登録します] チェックボックスをオンまたはオフにして、ソフトウェアアップデート、高機能製品情報、割引価格などの案内を受け取るか設定することができます。
  - f. [デバイスの登録] をクリックします。

## ドライブのスリープタイマーの設定

ドライブのスリープタイマーは、ドライブ上で何も処理が行われずに一定の時間が経過すると、ドライブの電源をオフにして電力を節約し、長期にわたるドライブの磨耗を最小限に抑えます。

1. WD Drive Utilities を実行するには、次の手順を実行します。
  - WD Discovery をインストールして開いたら、[アプリ] タブに移動して、アプリケーションを探し、[開く] をクリックすると、WD Drive Utilities を実行できます。
  - また、Windows のスタートメニューから、[スタート] > [すべてのプログラム] > [WD Discovery] > [その他の WD アプリ] > [WD Drive Utilities] または [スタ

ート] > [すべてのプログラム] > [WD アプリ] > [WD Drive Utilities] の順にクリックすると、アプリケーションを実行できます。

2. 対応しているデバイスをコンピュータに複数接続している場合は、設定するデバイスを選択します。
3. [設定] を選択して [スリープタイマー] を表示します。



4. [スリープタイマー] ダイアログで、次の操作を行います。
  - a. [スリープタイマー] のオン/オフボタンを確認し、必要に応じてクリックしてオンにします。
  - b. [時間を選択] ボックスで、ドライブをオフにする非アクティブ時間を選択します。



## 8

## ソフトウェアの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックについて説明します。

[ソフトウェア更新の有無を調べる](#)

[WD ソフトウェアのアンインストール](#)

## ソフトウェア更新の有無を調べる

更新が利用できる場合は、画面のダウンロードとインストールの指示に従います。

ソフトウェア	手順
WD Backup	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. WD Backup のアップデートが利用可能なときは、デバイスの画面の WD Discovery 通知セクションにメッセージが表示されます。</li> <li>2. <b>[こちら]</b>というリンクをクリックするとアップデートをインストールできます。</li> </ol>
WD Security	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. WD Security のアップデートが利用可能なときは、デバイスの画面の WD Discovery 通知セクションにメッセージが表示されます。</li> <li>2. <b>[こちら]</b>というリンクをクリックするとアップデートをインストールできます。</li> </ol>
WD Drive Utilities	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. WD Drive Utilities のアップデートが利用可能なときは、デバイスの画面の WD Discovery 通知セクションにメッセージが表示されます。</li> <li>2. <b>[こちら]</b>というリンクをクリックするとアップデートをインストールできます。</li> </ol>



## WD ソフトウェアのアンインストール

Windows の「アプリケーションの追加と削除」を使ってコンピュータから WD ソフトウェアをアンインストールします。

1. 「コントロールパネル」を開きます。
2. 「プログラムと機能」カテゴリを選択します。Windows のバージョンによっては「プログラム」と呼ばれます。
3. 削除するプログラムを選択し、「アンインストール」をクリックします。
4. 「よろしいですか...」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

## ドライブの再フォーマット

ドライブは最新の Windows および Mac オペレーティングシステムとの互換性を維持するために、単一の exFAT パーティションでフォーマットされます。

この章では以下のトピックについて説明します。

[ドライブの再フォーマット](#)

[WD ソフトウェアのダウンロード](#)

### ドライブの再フォーマット

ドライブを再フォーマットすると、ドライブの内容はすべて消去されます。ドライブにすでにファイルが保存されている場合は、再フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

<http://support.wdc.com> にアクセスして、ドライブの再フォーマットの詳細について、ナレッジベースの回答 ID 13140 を参照してください。

ドライブの再フォーマットの詳細については、「トラブルシューティング」を参照してください。

### WD ソフトウェアのダウンロード

ドライブの再フォーマットを完了したら、<http://support.wdc.com> にアクセスし、Windows および Mac バージョンの WD Apps ソフトウェアのダウンロードの詳細について、ナレッジベースの回答 ID 7 を参照してください。

WD Backup ソフトウェアは Mac コンピューターでは利用できません。

# トラブルシューティング

この章では以下のトピックについて説明します。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット

よくある質問

この製品のインストール、または使用中に問題が起きた場合は、このトラブルシューティングセクションを参照してください。より詳細な情報が必要な場合は、サポートウェブサイト <http://support.wdc.com> にアクセスして WD ナレッジベースでさらに検索してください。

## ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット

方法	ナレッジベースの回答 ID
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows (10、8、7) および Mac OS X の WD ドライブのパーティションとフォーマット</li> </ul>	13140
<ul style="list-style-type: none"> <li>Mac OS X GPT パーティションを Windows 7 で NTFS パーティションに変換する</li> </ul>	3647
<ul style="list-style-type: none"> <li>WD 製品用のソフトウェア、ユーティリティ、ファームウェアアップデート、ドライブをダウンロード (ダウンロードライブラリから)</li> </ul>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>exFAT または FAT32*で WD 外部ハードドライブをフォーマット</li> </ul>	10795

\*FAT32 ファイルシステムでは 4 GB が最大の個別ファイルサイズで、Windows では 32 GB より大きいパーティションを作成できません。ドライブを再フォーマットして FAT32 で 32 GB を超えるパーティションを作成する場合は、External USB/FireWire FAT32 Formatting Utility を <http://support.wdc.com/downloads.aspx?p=34> からダウンロードしてください。Windows ユーザーは exFAT にドライブをフォーマットすることで、サイズ制限を回避できます。

詳細については、次をご覧ください。

- 回答 ID 10795 : <http://support.wdc.com>
- 記事 ID 314463 と # 184006 : <https://support.microsoft.com>
- 適正なサードパーティソフトウェア説明書あるいはサポート団体

## よくある質問

ドライブがマイコンピューターやコンピューターのデスクトップに表示されないのはなぜですか？	ご使用のシステムで USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 PCI アダプタカードが使用されている場合は、WD USB 3.1 の外付けストレージ製品を接続する前に、ドライバーがインストールされていることを確認してください。ドライブは USB 3.1、USB 3.0 ま
--	---

コンピューターを起動する前に USB ドライブを接続したとき、PC が起動しないのはなぜですか？

たは USB 2.0 のルートハブとホストコントローラードライバーがインストールされていない限り、正しく認識されません。インストール手順については、アダプタカードの製造元にお問い合わせください。

システム設定によっては、コンピューターが WD 製外付け USB ドライブから起動しようとする場合があります。ご使用のシステムのマザーボード BIOS に関するドキュメントを参照して、外付けドライブからの起動を無効にしてください。または <http://support.wdc.com> にアクセスして、WD ナレッジベースの記事 ID 1201 を参照してください。外付けドライブからのブートに関する詳細については、ご使用のコンピューターのドキュメントを参照してください。または、コンピューターの製造元にお問い合わせください。

データ転送速度が遅いのはなぜですか？

ご使用のシステムでは USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 アダプタカードの誤ったドライバがインストールされている、あるいは、システムが USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 をサポートしていないために USB 1.1 のスピードで稼働している可能性があります。

システムが USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 をサポートしているか判別する方法は？

USB カードの説明書を参照するか、USB カードの製造元にお問い合わせください。

**メモ：** USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 コントローラーがご使用のシステムのマザーボードに内蔵されている場合は、マザーボードに適切なチップセットサポートをインストールしてください。詳細に関しては、マザーボードまたはシステムのマニュアルを参照してください。

USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 デバイスが USB 1.1 のポートやハブに接続されたら何が起きますか？

USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 は USB 1.1 と下位互換性があります。USB 1.1 ポートやハブに接続している場合は、USB 3.1、USB 3.0 または USB 2.0 デバイスは最大 12 Mbps でデータを転送できます。

ご使用のシステムに PCI Express スロットが搭載されている場合、PCI Express アダプタカードを装着してデータ転送速度を向上させることができます。取り付け手順および詳細は、カードの製造元にお問い合わせください。

# 遵守および保証情報

この章では以下のトピックについて説明します。

[規制遵守](#)

[環境基準の遵守（中国）](#)

[保証情報](#)

[GNU General Public License \(“GPL”\)](#)

## 規制遵守

### FCC クラス B 情報

このデバイスは次の条件で動作します。

- このデバイスは有害な干渉を引き起こさない。
- このデバイスは受信したすべての干渉（意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）を受け入れなければならない。

このデバイスはテストされ、クラス B のデジタルデバイスの制限に準拠し、FCC 規則の Part15 に従うことが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置において有害な干渉に対し妥当な予防策を提供するように規定されています。このデバイスはラジオ周波数エネルギーを発生、使用し、それを放射する可能性があり、そして指示通りに取り付けられ、使われない場合、ラジオ、テレビまたは通信の受信に対して、有害な干渉の原因となることがあります。しかしながら、特定の設置条件で干渉が起きないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を及ぼす場合は（機器をオン/オフすることによって確認できる）、次の手段によって干渉を修正することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向を変える、または配置を換える。
- 機器と受信機の距離を大きくする。
- 受信機が接続されているコンセントとは異なる回線のコンセントへ機器を接続する。
- ご質問がある場合は、販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

WD が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

### ICES-003/NMB-003 宣言

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003 クラス B に準拠しています。

## 安全準拠

米国およびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1、UL 60950-1 : 情報技術機器の安全性。

Approuvé pour les Etats-Unis et le Canada. CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1、UL 60950-1 : Sûreté d'équipement de technologie de l'information.

## ヨーロッパ CE 遵守

CE マークが表示されている場合、このシステムが、EMC 指令 (2014/30/EU)、低電圧指令 (2014/35/EU)、ErP 指令 (2009/125/EC)、RoHS 指令 (2011/65/EU) など、適用 EU 理事会指令に準拠していることを示します。適用指令に基づく「準拠の EU 宣言」は、Western Digital Europe によって作成され、保管されています。

## KC 通知 (韓国のみ)

기종별	사용자 안내문
B 급기기 (가정용방송통신기자재)	이기는가정용(B 급) 전자파적합기기로서주로가정에서사용하는것을목적으로하며, 모든지역에서사용할수있습니

## 環境基準の遵守 (中国)

有毒有害物质或元素						
部件名称	产品中有毒有害物质或元素的名称及含量					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价 铬 (Cr (VI))	多溴化联 (二) 苯 (PBB)	多溴化 二苯醚 (PBDE)
减震架(4)	○	○	○	○	○	○
减震器(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
脚垫(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
带镜头的上盖	○	○	○	○	○	○
底盖	○	○	○	○	○	○
PCBA	○	○	○	○	○	○
硬盘驱动器	X	○	○	○	○	○
微型 USB 电缆	○	○	○	○	○	○
EMI 底盖	○	○	○	○	○	○
聚酯薄膜	○	○	○	○	○	○
O: 表示有毒有害物质在该部件的所有均质材料中的含量均低于 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。 X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。 (在此表中, 企业可能需要根据实际情况对标记“X”的项目进行进一步的技术性解释。)						

## 保証情報

### サービスを受けるには

WD は、お客様のビジネスを大切にし、常に最高のサービスの提供に努めております。万が一本製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願いいたします。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、WD のナレッジベースまたは電子メールでのサポートサービス (<http://support.wdc.com>) でお答えできます。回答が得られない場合、またご希望によっては、本冊子冒頭に記載された電話番号で WD にお問い合わせください。製品保証を求める場合は、本製品の購入先である販売業者にまずご連絡ください。当該販売業者と連絡が取れない場合は、弊社のサポートウェブサイト (<http://support.wdc.com>) にアクセスして、サービスを受ける方法または返品許可 (RMA) について詳細をご確認ください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号が発行され、製品を返品する手順が通知されます。無許可返品 (RMA 番号が発行されていない返品) は、お客様の送料負担で送り返されます。許可された返却は、承認された発送用コンテナで梱包を行い、前払いで保険を掛け、RMA 番号を付記して、返却書類に示されている住所に発送してください。本製品保証に基づいて、お客様より適正な請求を受領後、WD または本製品購入先の販売業者が、お客様の請求が有効であると判断した場合、WD または当該業者はその裁量により、本製品を修理するか、同等もしくは上位製品と交換するか、もしくは本製品の代金をお客様にお返しします。本製品保証に基づく請求に係る一切の費用はお客様の負担となります。本製品保証によりお客様に提供される便宜は、オーストラリア競争・消費者法またはニュージーランド消費者保証法に基づきお客様が求めることができるその他の権利および救済方法に追加されるものです。元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、<http://support.wdc.com> で保証の有効期限をお調べください (シリアル番号が必要です)。

### 製品保証

WD は、通常の使用に供された場合、以下に規定する期間内、材質においても仕上がり状態においても本製品に欠陥が生じないこと、また本製品が WD の仕様と合致するものであることを保証します。WD 製品をお買い求めになった国によって保証期間が異なります。製品保証の期間は、法律で義務付けられている場合を除き、北米と中南米では 3 年間、ヨーロッパ、中東、アフリカでは 3 年間、アジア太平洋地域では 3 年間となっています。お客様の製品保証期間は、正規販売店または正規再販業者の領収書に記載された購入日より開始します。WD は、自由裁量により購入に関する保障延長サービスを提供する場合があります。製品が WD から盗取されたものであると断定された場合、または次の場合、WD は責任を負いません。当該故障が a) 存在しない場合、b) WD が製品を受け取る前に生じた損傷のために適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な取り付け、改変 (ラベルの取り外しまたは消滅および外部エンクロージャ (マウントフレームを含む) の開封または取り外しを含む。ただし、制限されたユーザーサービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が <http://support.wd.com> にある該当手順の範囲内にある場合は除く) が行われたか、または WD 以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。前述の制限事項によって異なりますが、前述の保証期間内における WD の判断による製品の修理または同等品や上位製品との交換が、お客様の唯一かつ排他的な保証となります。修理または交換した本製品に対する、WD の



前記の保証期間は、最初の保証の残り期間、または修理または交換済み製品の発送日から 90 日以内の、いずれか長い方に延長されます。

前記の限定保証が WD の唯一の保証であり、新品として販売された製品にのみ適用されます。ここで提供される救済は、明示、黙示または法定かを問わず、a) 市販性、特定の目的との適合性に関する黙示の保証を含む（ただし必ずしもこれらに限らない）他のすべての救済と保証に取って代わるものであり、b) この製品の購入、使用、性能との関連から生じた、偶発的、派生的、または特別な損害、財務的な損失、利益の喪失、データの喪失（ただし必ずしもこれらに限らない）に対して一切責任を負いません。これは、WD が、あらかじめそのような損害が生じる可能性を知らされていた場合でも同様です。米国のいくつかの州では付随的または結果として生じる損害の制限を許容せず、そのために上記の制限がお客様に適用されない場合があります。この保証は、お客様に特定の法的権利を付与しますが、お客様は、州ごとに異なるその他の権利を有する可能性があります。

## 保証情報（オーストラリア/ニュージーランドに適用）

本製品保証のいずれの事項も、オーストラリア競争・消費者法またはニュージーランド消費者保証法に基づくお客様の法的権利を変更したり排除したりするものではありません。本製品保証には、製品保証の請求を解決するために WD が最も推奨する方法が記載されています。それは全当事者にとって迅速かつ簡便な方法となると考えられます。

本製品に関しては、法律上明示的か黙示的かを問わず、本製品保証以外にいかなる保証（商品販売法記載の保証を含みますが、これらに限定されません）も適用されません。お客様がニュージーランドで業務のために本製品を購入した場合、ニュージーランド消費者保証法の適用外であることを認めこれに同意したことになります。オーストラリアでは、オーストラリア消費者法で排除し得ない保証が当社製品に適用されます。お客様は、重大な瑕疵については交換もしくは返金を、また、その他合理的に予測可能な損失もしくは損害に対しては補償を、それぞれ求める権利があります。また、商品が合格品質に達していないが、その欠陥が重大な瑕疵には相当しない場合、お客様はその商品を修理もしくは交換させることができます。主たる欠陥を構成する事項についてはオーストラリア消費者法に定めるものとします。

## サービスを受けるには

WD は、お客様のビジネスを大切にし、常に最高のサービスの提供に努めております。万が一本製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願いいたします。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、WD のナレッジベースまたは電子メールでのサポートサービス（<http://support.wdc.com>）でお答えできます。回答が得られない場合、またご希望によっては、本冊子冒頭に記載された電話番号で WD にお問い合わせください。製品保証を求める場合は、本製品の購入先である販売業者にまずご連絡ください。当該販売業者と連絡が取れない場合は、弊社のサポートウェブサイト（<http://support.wdc.com>）にアクセスして、サービスを受ける方法または返品許可（RMA）について詳細をご確認ください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号が発行され、製品を返品する手順が通知されます。無許可返品（RMA 番号が発行されていない返品）は、お客様の送料負担で送り返されます。許可された返却は、承認された発送用コンテナで梱包を行い、前払いで保険を掛け、RMA 番号を付記して、返却書類に示されている住所に発送してください。本製品保証に基づいて、お客様より適正な請求を受領後、WD または本製品購入先の販売業者が、お客様の請求が有効であると判断した場合、WD または当該業者はその裁量により、本製品を修理する

か、同等もしくは上位製品と交換するか、もしくは本製品の代金をお客様にお返しします。本製品保証に基づく請求に係る一切の費用はお客様の負担となります。本製品保証によりお客様に提供される便宜は、オーストラリア競争・消費者法またはニュージーランド消費者保証法に基づきお客様が求めることができるその他の権利および救済方法に追加されるものです。元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、<http://support.wdc.com> で保証の有効期限をお調べください（シリアル番号が必要です）。

## 製品保証

WD は、通常の使用に供された場合、以下に規定する期間内、材質においても仕上がり状態においても本製品に欠陥が生じないこと、また本製品が WD の仕様に合致するものであることを保証します。法律に別段の規定がある場合を除き、オーストラリアおよびニュージーランドにおけるお客様の製品保証期間は 3 年間です。お客様の製品保証期間は、正規販売店または正規再販業者の領収書に記載された購入日より開始します。本製品保証の適用を受け、本製品保証の開始日を確定するには、購入を証明するものが必要です。製品保証サービスは、本製品が、正規販売店、正規再販業者または WD による当初の本製品出荷先である地域 WD 返品センターに返品されて初めて提供されます。WD は、自由裁量により購入に関する保障延長サービスを提供する場合があります。WD は、本製品が以下に該当すると判断した場合、返品された本製品についていかなる責任も負いません。当該製品が (i) 正規販売店または正規再販業者から購入した商品でない場合、(ii) WD の仕様や指示にしたがって使用されなかった場合、(iii) 本来の目的のために使用されなかった場合、または (iv) WD から盗取されたものであると断定された場合、または当該故障が a) 存在しない場合、b) WD が製品を受け取る前に生じた損傷のために、適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な取り付け、改変（ラベルの取り外しや消滅、およびマウントフレームを含む外部筐体の開封または取り外しを含む。ただし、制限されたユーザーサービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が <http://support.wdc.com> にある該当手順の範囲内にある場合は除く）が行われたか、または WD 以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。

製品は複雑で壊れやすいものであり、(A) 誤った取り扱い、高温、低温、湿気への曝露、停電等（ただしこれらに限定されません。）の外的要因、または (B) 内部の瑕疵により、誤作動することがあります。このような誤作動により、データの損失、破損、抹消または改変が生じることがあります。お客様はデータのいかなる損失、破損、欠失、改ざん、ならびに損失、破損、欠失、改ざんからデータを保護するためのバックアップを行う責任を負うものとします。WD の一般的なサービスおよびテクニカルサポートをご利用になる場合、お客様が製品上のすべてのデータを継続的にバックアップし、事前にバックアップを完了しておくことに同意します。

オーストラリアでは、本製品が個人、家庭もしくは家事での使用または消費を目的として通常取得されたものではない場合、WD は、本製品を交換し、または同等もしくはより良い本製品を提供する責任に関し、公正かつ合理的な範囲で制限を設けております。

修理または交換した本製品の製品保証期間は、当初保証の残余期間、または修理・交換製品出荷日から 90 日間のうち、いずれか長い方まで延長されます。前記の製品保証が WD の唯一の保証であり、新品として販売された製品のみに適用されます。

## GNU General Public License (“GPL”)

本製品に組み込まれたファームウェアには、Western Digital のエンドユーザー使用許諾契約ではなく、GPL または劣等一般公衆利用許諾契約書（「LGPL」）（総称して「GPL ソフトウェア」）で許諾されたサードパーティ著作権付きソフトウェアが含まれている場合があります。GPL に従って、利用可能な場合は：1) GPL ソフトウェアのソースコードは、<http://support.wdc.com> から無料でダウンロードできます。または、<http://support.wdc.com> から、あるいは購入された日から 3 年以内にカスタマーサポートに連絡することによって CD を通常価格で入手可能です。2) GPL ソフトウェアは再使用、再頒布および、改変が可能です。3) GPL ソフトウェアに関しては、適用される法律によって許容される範囲となり、保証はありません。また、4) GPL のコピーは同封されていますが、<http://www.gnu.org> または <http://support.wdc.com> から入手できます。

オープンソースソフトウェアを含むがこれに限定されないソフトウェアの変更または改ざんは、お客様の自己責任となります。Western Digital は、いかなる変更あるいは改ざんに関して一切の責任を負いません。Western Digital は、Western Digital が提供したソフトウェアを変更、または変更を試みた場合、製品のサポートを行わないものとします。

# 索引

## D

Drive Utilities [Drive Utilities]

[スリープタイマー] ダイアログ [スリープタイマーダイアログ] [27](#)

[ドライブの消去] ダイアログ [ドライブノショウキョダイアログ] [24](#)

[ドライブの登録] ダイアログ [26](#)

診断ダイアログ [22](#)

## F

FCC クラス B 情報 [FCC クラス B ジョウホウ] [33](#)

## G

GNU general public license [GNU イッパンコウシュウリヨウキョダクケイヤクショ] [38](#)

GPL ソフトウェア [GPL ソフトウェア] [38](#)

## I

ICES-003/NMB-003 の順守 [ICES-003/NMB-003 ノジュンシュ] [33](#)

## K

Kensington セキュリティスロット [Kensington セキュリティスロット] [3](#)

## U

USB インターフェース [USB インターフェース] [3](#)

## W

WD

サービス、受ける [35](#), [36](#)

WD Drive Utilities ソフトウェア

[スリープタイマー] ダイアログ [スリープタイマーダイアログ] [27](#)

[ドライブの消去] ダイアログ [ドライブノショウキョダイアログ] [24](#)

[ドライブの登録] ダイアログ [26](#)

診断ダイアログ [22](#)

WD Security ソフトウェアを使用した

ドライブのロック解除 [19](#)

## あ

アクセサリ、オプション [アクセサリオプション] [2](#)

## お

オプションのアクセサリ [オプションノアクセサリ] [2](#)

オペレーティングシステム [オペレーティングシステム] [2](#)

オペレーティングシステムとの互換性 [オペレーティングシステムトノゴカンセイ] [2](#)

## く

クイックドライブテスト [22](#)

クラウドサービス、設定 [クラウドサービス、セッテイ] [13](#)

## さ

サービス [サアビス] [35](#), [36](#)

## し

システムの互換性 [システムノゴカンセイ] [2](#)

## そ

ソフトウェア、GPL [38](#)

ソフトウェア設定 [ソフトウェアセッテイ]

Dropbox アカウント [29](#)

クラウドサービスアカウント [クラウドサービスアカウント] [13](#)

## て

ディスクイメージ、ダウンロード [ディスクイメージダウンロード] [30](#)

## と

ドライブ

スリープタイマー [スリープタイマー] [26](#)

フォーマット、変換する [フォーマット、ヘンカンスル] [3](#)

取り扱い上の注意 [トリアツカイジョウノチュウイ] [4](#)

診断とステータスチェック [シンダントステータスチェック] [22](#)

接続を外す [23](#)

ドライブステータスチェック [22](#)

ドライブのロック解除 [ドライブノロックカイジョ] [19](#)

ドライブの再フォーマット [ドライブノサイフオオマツ] [30](#), [31](#)

ドライブの消去 [ドライブノショウキョ] [23](#)

ドライブの接続解除 [ドライブノセツゾクカイジョ] [23](#)

ドライブの登録 [ドライブノートウロク] [26](#)  
ドライブフォーマットの変換 [ドライブフォオマツト  
ノヘンカン] [31](#)

## は

ハードウェア [2](#)  
パスワードによるドライブの保護 [パスワードニヨ  
ルドライブノホゴ]  
パスワードの紛失についての注意 [パスワードノ  
フンシツニツイテノチュウイ] [18](#)  
パスワードの作成 [18](#)  
バックアップ  
ファイルのバックアップについて [ファイルノバ  
ックアップニツイテ] [10](#)  
手順 [テジュン] [11](#)  
パッケージ同梱物 [パッケージドウコンブツ] [2](#)

## り

リモート Dropbox アカウント、設定 [29](#)

WD、WD ロゴ、My Book、WD Discovery、WD Backup、WD Security、WD Drive Utilities は米国やその他の国における Western Digital Corporation またはその関連企業の登録商標または商標です。その他の商標は各所有者に帰属します。画像は、実際の製品と異なる場合があります。製品仕様は予告なしに変更されることがあります。

Apple、Mac、Mac OS、OS X、および Time Machine は、米国および他の国における Apple, Inc. の登録商標です。Dropbox および Dropbox のロゴは Dropbox, Inc の商標です。Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標および商標です。転送速度またはインターフェースの単位は、毎秒 1 メガバイト (MB/s) = 毎秒 100 万バイト、毎秒 1 メガビット (Mb/s) = 毎秒 100 万ビット、毎秒 1 ギガビット (Gb/s) = 毎秒 10 億ビットです。

© 2017 Western Digital Corporation or its affiliates. All rights reserved.

Western Digital  
3355 Michelson Drive, Suite 100  
アーバイン, カリフォルニア 92612 U.S.A

4779-705157-RO2